所沢市退職校長会会報

みんなの広場

Vol.10
発行　所沢市退職校長会
令和7年９月

― ごあいさつ ―

副会長　青木章次

令和７年度より副会長を務めさせて頂くことになりました。昨年度までは会計幹事として、会員の皆様方から貴重な会費を集め、事業の充実の為に役立たせて頂きました。改めて感謝申し上げます。

さて、所沢市退職校長会はコロナ禍を経てきましたが、会員の日帰りや一泊の親睦研修旅行等、実施が困難になってきている事業についても継続して取り組み、毎回新しい会員の参加を頂いております。また、令和３年度からの会報「みんなの広場」やホームページの開設等を通して、退職校長会の情報発信や会員相互の交流の場づくりにも取り組んできました。

現在は、新会員の安定的な加入や事業を実施していく為の財源等の課題もありますが、会員の皆様のご理解とご協力を頂き、事業の充実・発展の為に、会長を助け、微力でありますが努めて参りますのでよろしくお願いいたします。

My　Note

会員の皆様の趣味や活動、楽しんでいる様子を掲載します。寄稿をお待ちしています。

「地域ジュニアリーダー育成事業」　吉田和生

再任用校長を５年間務めさせていただきましたが、この３月で校長職を終了いたしました。長年にわたり諸先輩をはじめ多くの皆様に、大変お世話になりました。どうにかこの職を終えることができましたこと、心から感謝並びに御礼申し上げます。

さて私事ですが、４月より所沢市教育委員会・社会教育課で社会教育指導員という職に就かせていただきました。新しい職は、新たな期待と多くの戸惑いの中で一歩を踏み出させていただきました。６６歳の初めての体験です。

社会教育課の仕事の中で、特に関わらせていただいているのが、新規事業である「地域ジュニアリーダー育成事業」です。この事業は、中学生を対象とした地域で活躍できる人材育成事業です。

現在、学校では、コミュニティ・スクールの推進が求められていますが、学校を取り巻く地域やPTAの関係は、少子高齢化・保護者の就業率の高さや多様な価値観の生活など様々な背景の変化から、他人と人を繋ぐ地域の担い手がいないことが社会の大きな課題となっています。人材不足は、安全で住みやすい地域づくりや災害に強いまちづくりのためには、待ったなしでの解決が求められています。

キーワードは、「集う・学ぶ・つなぐ」を生み出す人材育成事業です。
この人材育成事業は、私にとって次の世代を担う若者や生徒と触れ合える貴重な仕事なのです。もうしばらく、この楽しい仕事に関わらせていただきます。
機会がありましたらご指導並びにご鞭撻をよろしくお願いいたします。私は、元気でやっています。

今，学校は！

所沢市で取り組んでいる教育活動を紹介します。今回は所沢市立東中学校の取組です。

特別指定研究「トコろん学力向上プロジェクト事業」
～「非認知能力に視点を当てて」をキーワードに～

所沢市立東中学校　校長　坪井　健

東中学校は所沢市の特別指定研究の委託を受け、生徒の学力向上に取り組んでいます。「非認知能力」の育成が「認知能力」の向上に影響を及ぼすという仮説を立て、研究２年目の授業改善に取り組んでいます。誤解を恐れずに言うならば、認知能力は読み・書き・計算などの点数にできる力、非認知能力は自制心・自信・コミュニケーション力などの点数にできない力です。非認知能力の育成は、学習指導要領にある資質・能力の３つの柱のうち、「学びに向かう力、人間性等」にあたるものです。

さて、研究１年目は、「非認知能力とは何か」を指導者の著書を頼りに自分たちのフィルターを通して学ぶところから始まりました。校内研修を重ねるうちに、私たちは気がついたことがありました。何か新しい力の育成を新たな取り組みとして行うのではなく、これまで学校が大切にしてきた、生徒の人格形成への教員の働きかけを、もう一度見直す必要があるということに。学校現場は、教育の不易として大事にしてきた実践の継承が難しくなってきています。しかし、教職経験の浅い若手の教員にとって、先輩や同僚との共通言語としても「非認知能力の育成」を考え、目の前の子どもから学ぶ姿勢を育てることができています。

研究1年目の授業研究会

また、学びの主体である生徒が非認知能力の視点を意識できるように、行動指標を作成しました。学校教育目標「自立と貢献」を中心に据え、例えば、＜成長・耐性＞の視点で「自分の成長を信じて、あきらめないで決めたことをしっかりやり抜こう。」や、＜柔軟性＞の視点で「その場その場に応じて自分で考え、行動を修正する力を高めよう。」などです。さらに、非認知能力は点数化（定量化）できない特徴がありますが、AiGROWという質問紙を用いて生徒個人の資質・能力を評価しています。東中学校の生徒の特徴は「寛容」です。質問紙の結果は、生徒自身にフィードバックを行い、生徒は自分の資質・能力に目を向ける機会があります。

「教師は授業が勝負」と言われるように、教育活動の中心は授業です。授業改善には、学習指導案の略案のような「ギミックブラッシュアップシート」を用いています。これは教師が「生徒から引き出したい力」を意識するとともに、教師が行う意図的な仕掛け（ギミック）を視覚化するためのものです。また、その仕掛け（ギミック）によって、生徒の感情がどのように変化していくか（感情イメージ）を時間軸でグラフ化しています。この感情イメージは、真ん中は感情がニュートラルな状態で、上に上がればポジティブな感情、下に下がればネガティブな感情を表しています。これにより、教師が生徒の感情をこのように動かしたいという意図がはっきりと視覚化します。

ギミックブラッシュアップシート		授業者名	作成例
教　科	英語	学　年	2年5組
単　元	Program7 Gateway to Japan		
本時の目標	英語のディベートに勝とう		
特に伸ばしたいコンピテンシー	柔軟性（状況に応じて行動（発言）を適宜修正できる力）		
	序盤：ギミック①（ 5分頃～ 15分頃）	中盤：ギミック②（ 16分頃～ 30分頃）	終盤：ギミック③（ 30分頃～ 48分頃）
非認知能力	経験を生かして目標にたどり着く力	地球市民 相手に合わせてわかりやすく説明する力	柔軟性 忍耐
ギミック	教員と英語でやりとりをしながら本文の大まかな内容をつかむ。	本文の問題に取り組む。 正解した生徒はわからない生徒に教える。	相手の発言を聞きながら自分の発言を考え、対話を続ける。 言えなかったことを確認（人に聞く）する時間を設けて、聞く力や表現力を身につけさせる。
期待できる姿	やりとりを通して意味や内容を推測しながら内容を理解しようとする姿。	相手に合わせてわかりやすく説明するために、言葉や説明の仕方を選ぶ姿。	目的（ディベートに勝つこと）に向けて、言いたいことを探り、対話の内容を深めようとする姿。
感情イメージ	開始		終了

２年目は校内組織を再編成し、時間割内に部会を設定して研究を推し進めています。部会では、行動指標をピクトグラムのように図示したり、生徒自身が授業中の感情イメージを振り返るなど、授業の視点が学びの主体である生徒に向かっています。

2年目の研究発表は令和８年１月14日（水）です。ご興味がある方は、東中学校までご連絡ください。

けやき会親睦旅行（6/3～4）

今年私自身、けやき会親睦旅行には２回目の参加になりました。行き先が「箱根・湯河原・小田原」方面でしたが、プライベートや職場での旅行で何度か訪れたこともあり、懐かしさも感じられ、楽しみにしていました。

朝から雨模様の中、バスは予定通り出発しました。ご挨拶や自己紹介、そして和やかな会話。プロのバスガイドも舌を巻きそうな匠、坂上先生の案内やクイズ。あっという間に最初の目的地、箱根の関所・資料館に到着しました。あいにくの雨で足下も滑りやすく大変でしたが、高台にある遠見番所からは往時を想像させる景色が目の前に広がりました。昼食後は、穏やかな芦ノ湖を箱根遊覧船で渡り大涌谷を目指す予定でした。霧も深く雨模様ということで、黒タマゴは又の楽しみにすることにし、湯河原パークウェイを一路、湯河原温泉ホテルあかねに向かいました。途中、観光バスをマイクロバスに乗り換えスリリングな狭い急坂をクネクネと登って宿に到着しました。

宿に着く頃には天気もだいぶ回復して湯河原の町並みや相模湾に浮かぶ船が見えるようになりました。温泉につかり、懇親会では夕食をいただき、カラオケで皆さん楽しい時間を過ごしていました。そんなとき、今年度からの企画ということで「古希」の方へ……、予期せぬお祝いと素晴らしい記念品（名前入りの扇子）を頂き、生涯忘れられない思い出を演出してもらいました。

二日目は、素晴らしい天候に恵まれ，漁港の駅TOTOKO小田原で買い物。かなり急な坂を登った天守閣では北条家の歴史を学び３６０°のパノラマを堪能した小田原城の見学。次に、箱根ジオパークの拠点である「生命の星・地球博物館」では、太陽系の誕生から地球の歴史を、ある物は映像で、レプリカで、化石で、鉱物や生き物の標本でと、短時間では見切れないほどワクワクする見学をしました。昼食は鈴廣かまぼこの里風祭店で金目鯛の炙り飯をいただき、土産を買って帰路につきました。

結びに、黒タマゴはざんねんでしたが、和気あいあいと楽しく、しかも学習欲までくすぐってくれた親睦旅行ができたのも本部幹事の方々のおかげです。感謝申し上げます。　（ 文責　酒井　通 ）

歌舞伎鑑賞教室

令和7年7月19日（土）、東京都江東区のティアラこうとう大ホールにて、国立劇場主催の7月歌舞伎観賞教室に参加しました。所沢市退職校長会および退職公務員連盟から多くの希望者が参加し、イヤホンでの解説を聞きながら歌舞伎鑑賞を楽しみました。

まずは「解説　歌舞伎のみかた」を学び、その後「色彩間苅豆（いろもようちょっとかりまめ）ーかさねー」を観賞しました。

暑さが厳しい夏にふさわしい、緊張感あふれる怪談を堪能しました。

◎　参加者の皆様から貴重なご意見を頂戴しました。
①「歌舞伎鑑賞教室は、所沢市退職校長会・退職公務員連盟にとって欠かせない行事であり、来年度もぜひ継続を希望します」
②「行事の見直しが必要となってきており、内容や開催場所の検討が求められます」
③「幹事の皆様には、日程調整や参加者募集、名簿作成、入場券の手配など、多大なご尽力をいただき感謝申し上げます」

トコろんのびのび塾への協力

所沢市教育委員会の方針に賛同し、所沢市退職校長会および退職公務員連盟所沢支部は令和7年度のトコろんのびのび塾に協力しました。退職後も子どもたちと関わることができ、大きな喜びを感じています。以下にこの取組の概要を紹介します。

この活動は地域の教育資源を活用し、所沢市の子どもたちの学力向上と学習意欲の向上を目指しています。
主催は所沢市教育委員会で、対象は所沢市内の小学校3年生から6年生の希望者です。

内容は九九や四則計算の学習支援で、講師には所沢市立小中学校の支援員、教職員のOBサポーター、近隣大学の学生、さらに市内の高校生や中学生も参加しています。

開催期間は前期が7月24日、25日、28日、29日、後期が7月31日、8月1日、4日、5日です。前期は和田小学校、中央小学校、中富小学校、山口小学校、狭山ヶ丘コミュニティセンター、小手指まちづくりセンターで実施され、後期は柳瀬小学校、美原小学校、荒幡小学校第二BASE（旧所沢第二幼稚園）、所沢まちづくりセンター、新所沢まちづくりセンターで行われました。

今年で3回目の開催となり、私はボランティアとして参加しました。教育委員会が自作プリントの作成や運営体制の強化に力を入れている点に感銘を受けました。児童や保護者、地域の方々、そしてボランティアからも高い評価を得ており、加えて教育委員会から具体的な情報提供もありました。以下に図や文章で内容をまとめて紹介します。（文責　丸山昇）

開催会場新設
所沢市市内全域のカバー

参加ボランティアへの支援体制の充実

参加児童数の増加と満足度向上

※教育委員会のデータおよび参加者の意見を具体的にまとめました。

①参加した児童（延べ1647名）
◎参加して良かったと感じている。◎理解できなかったことが理解できるようになった。◎先生方が親切だった。◎ところんバッジをもらえて嬉しかった。

②参加したボランティア（延べ547名）
◎丁寧でわかりやすい説明が良かった。◎子どもたちのやる気を引き出す指導ができた。◎教育委員会の先生方の真剣で温かい指導に感銘を受けた。

③地域や保護者
◎新たな会場の設置によって「トコろんのびのび塾」への参加がしやすくなり感謝している。
◎多くの方から非常に喜ばれており、来年度も継続を望む声が多く聞かれている。

【編集委員】（委員長）丸山昇　（委員）鈴木良明、内野正行、齋藤敏男、米澤三八子
◎寄稿やご意見、ご要望がございましたら、編集委員までご連絡ください。